

紛争地域における 人命救助の最前線 —ガザの真実を知る

国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）保健局長 清田明宏医師を講師に迎え、紛争地域における人命救助の最前線から、UNRWAの活動やガザの現状と未来についてご講演いただきます。

「人道支援について考えたい」「ガザの現状について知りたい」「国連機関について理解を深めたい」など、ご興味のある方はぜひご参加ください。

2025年

日時

6月16日 月

9:30-11:00

開場 9:00

会場

神戸市外国語大学
第2学舎503教室

神戸市営地下鉄「学園都市」駅から徒歩3分

参加料

無料

定員

100名
先着順／申込不要

講師

清田 明宏

国連パレスチナ難民救済
事業機関（UNRWA）保健局長



医師。世界保健機関（WHO）で約15年間、中東など22カ国の結核やエイズ対策に携わった。中東の結核対策では、患者の服薬を直接確認する療法「DOTS」を導入し、高い治癒率を達成。2024年には、ガザ地区で合計100日を超えて人命救助活動に取り組んだ。

司会

松田 裕美

神戸市外国語大学
国際関係学科准教授

国連児童基金（UNICEF）職員として、アジア・アフリカ・中東などで計20年以上の勤務を経て、2022年より現職。

神原 咲子

神戸市看護大学
災害看護・国際看護学分野 教授

災害看護・公衆衛生・国際看護を専門とし、健康危機・災害リスク管理に取り組む。国内外での活動を通じ、特にデジタル支援の開発実践に力を注ぎ、国連リスクアワード2017などを受賞。

共
催



Kobe City University of Foreign Studies

神戸市外国語大学



公立大学法人

神戸市看護大学
KOBE CITY COLLEGE OF NURSING

■ 問合せ先

神戸市外国語大学研究所グループ
e-mail kouen@office.kobe-cufs.ac.jp
住所 神戸市西区学園東町9-1

■ 神戸市外大魅力発信事業とは

神戸市公立大学法人としての幅広い教育・社会貢献活動の一つであり、知と文化を発信する本学の重要な取り組みです。活動資金としての寄付も広く募っています。詳しくはホームページをご覧ください。

寄付に関する詳細▼

